

東京中央郵便局及びJPタワーについて

1 東京中央郵便局について

旧東京中央郵便局舎は、1931年（昭和6年）に竣工し、設備工事等を経て1933年（昭和8年）から、東京駅前広場に面して業務を開始いたしました。設計は逓信技師 吉田鉄郎氏によるもので、白色タイルの外壁に黒色の建具枠の窓を特徴としていました。

今回オープンする東京中央郵便局の窓口ロビーは、可能な限り創建当初の内装材を保存しています。大きな特徴である八角形の柱や壁に使用されていた黒色の大理石は、躯体補修のために一旦取り外して補修し、原位置に戻しています。更に失われていた創建当初の照明や床の黒色モザイクタイル、天井・壁の漆喰、カウンター(一部)についても復原的に整備しています。

2 JPタワーについて

今般のJPタワー開発にあたっては、旧東京中央郵便局舎を一部保存し、東京駅前地区の風格ある歴史的景観を継承することに留意しながら、丸の内周辺における賑わいある魅力的な都市空間の形成に取り組みました。

JPタワーは、今回オープンする東京中央郵便局及びゆうちょ銀行本店など低層棟の歴史的な深みのある空間と、超高層オフィス棟に象徴される新しい技術・デザインを融和させた、丸の内東京駅前エリアの新たなランドマークとなっています。

2013年春には、低層棟の飲食・物販を中心とした商業施設、国際カンファレンスセンター（「JPタワーホール&カンファレンス」）、国際ビジネス・観光情報センター（「東京シティアイ」）及び学術文化総合ミュージアム（JPタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」）といった魅力ある施設がグランドオープンする予定です。